

発行：一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団（キッズファム財団）

Foundation for Severely Ill Children and Their Families



ご挨拶

ついこの間、お正月だったのに、暦の上ではもう夏。目まぐるしい速さで時間が過ぎていきます。

このところ世の中はお金、成績、効率など目に見えるものばかりに焦点が当てられがちです。医療の領域でも同じようなことが言えます。アメリカが再び、今の大統領の時代になったことでそれに弾みがつきました。

しかし、普通ならば人間は心の中に、愛、優しさ、思いやりなど目に見えないものを同時に持ち合わせているのです。私たちにとって本当に大切なものとはそのような目に見えないものなのだと繰り返し教えられ、これまで育ててきたような気がします。

一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団
代表理事 細谷 亮太

さはさりながら、子どもにとって目に見えないものの存在をリアルタイムで理解するのは少し難しいかもしれませんが。私たちはおとなになって多くの大事な目に見えないものに包まれて、子どもの時代を過ごしてきたことによりやく気づき、おとなに感謝するのです。

今の子どもたちも、自覚はないかもしれませんが、本当に大事な目に見えないものに囲まれて暮らしています。少なくとも、我が国ではそうであると信じたいですし、私たちおとながそうしてあげる努力を続けなければいけないと強く思います。彼らが育っていく過程のどこかでそれを自覚し、くり返し思い出しながら生きていって欲しいのです。

夏の暑さがきつくないことを祈りながら。

☆財団の主な活動のご紹介

■第2回きらきらキッズフェスタ ～音楽とあそびの「わ」をつなごう

2月15日(土) 大蔵第二運動場体育館にて、第2回きらきらキッズフェスタを開催しました。このイベントの主旨は、「こどもも大人も、障がいがあってもなくても、音楽とあそびを通じて交流し一緒に楽しみましょう！」です。

ステージ発表のトップバッターは「明正小HAPPY☆エイサーズ」(写真A)。迫力ある太鼓とダイナミックなパフォーマンスは圧巻でした。2番手は「ようがキッズバンド(用賀小学校)」(写真B)。総勢30名ほどのバンドで、小学生とは思えない大迫力でした。3番手は「クラウンワン



A



B



C



D

5番手は「砧中学校吹奏楽部」(写真E)。圧巻の演奏に会場が魅了されました。また「ミュージック・ジャンクション」のコーナーでは、会場 みんなが楽器を鳴らしたり手拍子を叩いたりして「風になりたい」という曲を一緒に楽しみました。6番手は「サレジアン国際学園世田谷中学高等学校合唱部」。ミュージカルソングを中心に、透明感のある素晴らしい歌声を披露してくれました。



E

7番手は「砧中学校ダンス部」。会場のみんなにダンスを教えてくださいました。こどもも大人も一緒にダンスをして盛り上がりました。ラストは「音楽とどけ隊」。プロの演奏家による、歌、バイオリン、チェロ、ピアノの素晴らしい演奏でした。「ミュージック・ジャンクション」のコーナーでは、「おもちゃのシンフォニー」という曲を会場 みんなでタンバリンなどの楽器を使って楽しみました。

ブース出展は、世田谷区スポーツ推進委員協議会による「ボッチャ体験コーナー」、青少年砧地区委員会による「キラキラバッチコーナー」、友愛十字会による「射的!ほんき!すてき!」、東京医療保健大学による「記念撮影いかが?」Lemonade Journalによる「レモネードスタンド」、キッズファミ財団による「フリーマーケット」と「活動紹介」でした。



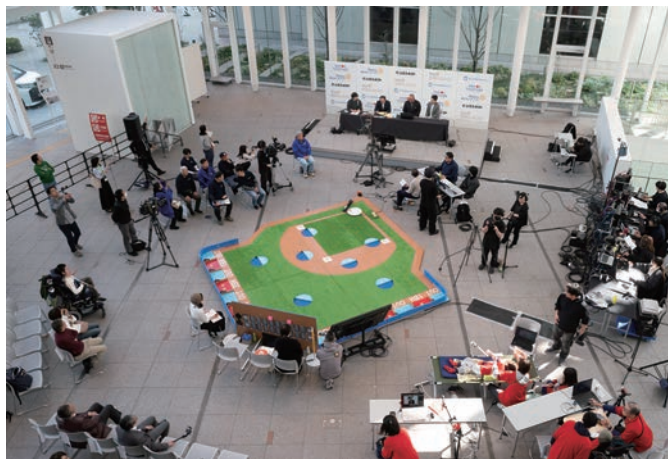
砧中学校、サレジアン国際学園世田谷中学高等学校、東京医療保健大学、日本大学、上智大学の学生さん方が、受付、誘導、会場設営のお手伝いをしてくれました。また、サレジアンからはステンドグラス風の飾りをご寄付いただき、殺風景な体育館が華やぎました。このイベントを通じて、地域の学校や団体、地域の皆様の「つながり」ができたことを非常に嬉しく思っています。

開催にあたり、共催いただきました世田谷区、後援いただきました国立成育医療研究センター、協力いただきました世田谷区砧まちづくりセンター・世田谷区医療的ケア相談支援センター・公益財団法人世田谷区スポーツ推進財団・砧地区町会・自治会連合会様はじめ地域の皆さまに心より御礼申し上げます。



G

■ウルトラ・ユニバーサル野球大会



3月1日(土)・2日(日)、横浜市役所1Fアトリウムにおいて当財団主催のウルトラ・ユニバーサル野球大会の準決勝と決勝を行われました。重い病気や障がいのある人たちにとって野球を自ら楽しむことは困難であると思われてき



ましたが、「ウルトラ・ユニバーサル野球」がそれを実現する道を切り拓きました。舞台となるのは、両翼約5メートルの大型野球盤。バットのストッパーを外すとバネ仕掛けでス

イングすることができ、ホームベース上で回転するボールを打って、打球が止まった位置でヒットやアウトが決まる。これに「パソコン」「視線やスイッチによる入力装置」を組み合わせることで、寝たきりの状態の人でもバッティングが可能になり、自宅から選手としてゲームに参加することができるようになりました。



3月2日の決勝日には特別ゲストに横浜ベイスターズの元監督、アレックス・ラミレス氏を迎えて一般公開するとともに、YouTubeでライブ配信を実施しました。今回全



国で9チームが参戦しましたが、決勝戦で19対18の打撃戦を制した「東北ブルーロック」が優勝し「TEAM KANAGAWA」が準優勝となりました。ご家族の心温まる応援が印象的でした。

大会の様子はNHKやテレビ神奈川、岩手めんこいテレビ、神奈川新聞、東京新聞など、各種メディアでも取り上げられました。

■マジカルコンサート ーディズニー映画の音楽よりー

1月22日(水)、ブリティッシュスクールin東京で“マジカルコンサート”を開催しました。ブリティッシュスクールでの開催は3回目となります。もみじの家利用のご家族等、6組、12名がご来場くださいました。音楽部の皆様による素晴らしい演奏と美しい歌声で、ディズニーの世界を全身で楽しんだ1時間でした。

学校入口ホールでは財団紹介映像の放映と写真パネル展示をさせていただき、生徒さんや保護者の皆様に重い病気の子どものことを知っていただく機会となりました。

コンサートを通して一緒に音楽を楽しみ、お互いを知り合うという素敵な時間になりました。ブリティッシュスクールの皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

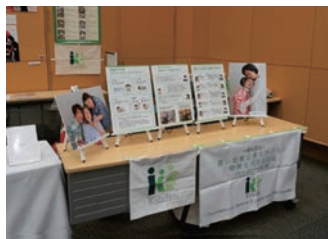


■医療的ケアファミリーのためのイベント

1月26日(日)国立成育医療研究センターにて開催された「遊ぼう!知ろう!つながろう!医療的ケアファミリーのためのスペシャルデー」に財団ブースを出展しました。医療的ケア児の説明パネルを展示し、ファミリーフォトプロジェクトで撮影した家族写真をご来場の皆様にご紹介させていただきました。

世田谷区内で医療的ケアの支援を担う様々な団体が集い、イベントのテーマ通り“つながり”と情報交換ができました。フライトシュミレーターとゴーカートのアトラクション、講演会、家族写真の撮影会もあり、ご来場のお子さんご家族が楽しまれていました。

主催の世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta、共催の国立成育医療研究センターもみじの家とドナルド・マクドナルド・ハウスの皆さま、ありがとうございました。



■第9回スペシャルキッズサポーターの集い

3月16日(日)、藍野大学(大阪府茨木市)で開催され、「すべての子どもたちを支えるコミュニティづくりを!」を実現するための講演とワークショップが行われました。

基調講演では「こどもたちのQOLを高めるボランティアコーディネーターの取り組み」について、ご自身の体験を通して、子どもと家族を中心にしたボランティア活動の在り方・実際をご講演くださいました。

また特別公演は「いこう。いっしょに。こどもたちの冒険する権利のために」と題して、障がいのある息子さんとご家族4人で世界一周の旅を楽しんだ体験を映像と共にお話しいただきました。

午後には8つのワークショップが準備され、各自が学びたい内容を選んで参加しました。



英国だより (13)

安喜オルバー
英国「MOMIJI」代表・心理療法師



やっと春らしく桜の花やチューリップが庭に咲き始めました。今年は母が大好きだったスズランが初めて咲きとても嬉しいです。しかし庭の塀を

乗り越えて、鹿が一番美味しい薔薇のつぼみをすぐ食べに来てしまうのが残念です！

現在は、法王の葬儀に英国首相スターマー、皇太子プリンスウィリアムが世界の国家元首とイタリアのローマに集まられています。世界の平和を祈って、貧しい人や避難された人のため活動をしてこられ、長生きをしてきた法王。亡くなられても平和のつとめを続けておられます。おそらくこのニュースレターが発行される時には新しい法王が決まっていることでしょう。

ロンドンで今、深刻な問題となっているのがスマホを狙った犯罪の急増です。ヨーロッパのどの都市よりも多いという。犯行は、電動バイクを使った巧妙な手口で、ほとん

どのひったくり犯が黒ずくめの服装に目出し帽を着用しているという。なぜロンドンでこれほどまでに増えているのかは謎です。世界有数の観光都市であり、多くの日本人旅行者も訪れるロンドンで今、深刻な問題となりつつあります。どうぞお気をつけ下さい。

6月20日に第二回UK駅伝が行われます。今年もまたテムズ川沿いのコースでウインザーからレディングまでの往復114kmを走ります。今年はチームの数も増え、多くのスポンサーが参加されます。川沿いのコースですと多くの方が見物できないので、もう少し広い道を通ることになりました。オクスフォードやケンブリッジなど15の大学エリートチームとFT/日経やJALなどの



企業スポンサー15チームが参加します。英国のチャリティMOMIJIもまた参加させてもらいます。どうぞ皆さんで応援して下さいませ。

*安喜オルバーは財団創設者・喜谷昌代の次女、英国で各種チャリティ活動を行っている。キッズファム財団理事。



ご家族からのお便り

「未来への贈り物」

丸山 有希子様



もみじの家で出会ったカメラマンの安田さんとは、もう7年ほどのお付き合いになります。

初めての家族写真は2018年の夏。末っ子はまだお腹の中にいて、撮影は4人とお腹の中の子でのスタートでした。それから娘が生まれ、5人そろって初めての写真を撮っていただき、我が家のファミリーフォトの歴史が始まりました。

医療的ケアのある息子は重度の障害があり、外出といえば通院や入院がほとんど。そんな私たちにとって、写真撮影は「家族でお出かけする」きっかけにもなりました。息子の七五三では、初めて5人でお出かけし、記念撮影が叶いました。

毎年の撮影前には、今回は「どんな服にしよう?」「どんなテーマにしよう?」と準備するのが楽しみで、ネット

で服を探したり、過去の写真を見返したり。その時間もまた、家族の大切な思い出です。

以前は、家族写真なんていつでも撮れるし、プロに頼むのは贅沢かも…と迷ったこともありましたが、でも、今振り返ると、この子育ての日々こそがかけがえのない時間。「いつか撮ろう」と思っているうちに、日々はあっという間に過ぎてしまいます。一年に一度、子どもたちの成長を喜び合い、私たち親もここまでがんばってきたのだなと感じられるその瞬間を、写真という形に残してもらえることは、未来の私たちへの大切な贈り物になると思っています。





通信の表紙絵を描いています

最初に表紙の絵を描き始めたのは、4年前の通信No.10からになります。そして今回で8枚目となりました。

それまではファミリーフォトプロジェクトで撮影した家族写真を様々な額縁や風船に入れたりしてきましたが、キッズファム財団ともみじの家の故郷である英国との繋がりを取り入れてみたくなりました。

そこで、まずは英国風の建物の窓にご家族の写真を入れたくて、それに相応しい写真を探しました。ところが、なかなか思うようなものが見つからず締め切りも迫ってきたので、それなら描くしかないということになりました。水彩画を習い始めてから数年しか経っておらず少し不安ではありましたが、何とか完成させることができました。描い



た後で家族写真を窓内にはめ込んでいます。

その後も英国もしくはロンドンをテーマにあれこれ試行錯誤しながら継続してきました。通信の発行が6月と12月なので季節感も取り入れながら創作しています。またお楽しみとして絵のどこかに財団創設者の喜谷昌代も登場しているので、探してみてください・・・皆さんに手を振っています。



キッズファム財団理事
大川 周二

通信などの広報物への写真使用を許可していただけるご家族をはじめ、通信を手にとっただけの皆さんに喜ばれるよう、これからも楽しい絵を描いていきたいと思います。

＊この6月末でキッズファム財団の業務執行理事を退任いたしますが、引き続き理事としてお手伝いさせていただきます。

はじめまして

このたび、キッズファム財団の理事を拝命いたしました菌部真志と申します。

私は東京生まれ・東京育ちですが、新卒で広告会社に就職してから、いろいろな場所を転々とし、変化に富んだ仕事をさせていただきました。

最初の転勤先は関西。阪神タイガースファンの私にとっては甲子園球場に通えるエリア、嬉々として赴きました。その後、1998年に英国ロンドンに転勤。当時日本でも人気が発達していたベッカムを擁するマンチェスターユナイテッドが全盛期の頃でした。さらにパリに異動。拠点長として責任が大きくなる傍ら、ラグビー好きが高じて、日本人ラグビークラブ「パリジャパニーズ」を創設しました。2003年に日本に帰国。



英国駐在時ウインザーにて

その後は、北陸富山にも駐在。冬の雪かきは大変でしたが富山湾の美味しい魚とお米を堪能しました。

会社キャリアの晩年は東京で

過ごしましたが、グループ内の特例子会社に出向し、障害者雇用の業務に携わりました。日頃は穏やかなのに突如不安定になる・・・精神・発達障害の手帳を持った方々との向き合い方に、自分としての力不足を感じ、猛勉強ののち精神保健福祉士の資格を取得しました。定年退職後、現在は障害者と企業をマッチングさせる企業で働いています。

このたびは、重い病気を持つ子どもたちとご家族の皆さまとの新たなご縁をいただいたことに感謝しております。

私は現在63歳、家族と横浜市に住んでいます。関西時代に出会った妻、関西生まれの長女、英国生まれの次女、フランス生まれの長男の5人家族です。医療分野に携わるのは初めてのことですが、母の従兄弟が以前、日赤医療センターの小児科医をやっており、その話を聴く中で小児医療の尊さは感じていたつもりです。

自分のこれまでの経験を活かして、子どもたちとご家族が笑顔になれることを創っていけたらと思います。精一杯頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



菌部 真志

■ 令和6年度事業報告

1. 支援事業

- 1) 重い病気を持つ子どもと家族へ支援
 - ①施設利用料の支援(長期利用支援を含む)…支援件数152件
 - ②ファミリーフォトプロジェクト…41件
 - ③タオル無償提供…もみじの家利用全家族
 - ④キッズファミ・カフェの実施…(6月～再開) 31回
 - ⑤子どもと家族を対象としたコンサート…3回/年
 - ・6月15日 クラシカルエクスペリエンス プリティッシュスクールイン東京 5家族
 - ・9月12日 キッズファミライブ(新沢としひこさん) もみじの家2階 14家族
 - ・1月22日 マジカルコンサート プリティッシュスクールイン東京 6家族
 - ⑥ユニバーサルベースボール大会
 - ・1月18・19日 予選 シミズオクトスタジオ(高田馬場)
 - ・3月1・2日 準決勝・決勝 横浜市役所アトリウム
 - ⑦イベント等への招待
 - ・美術館招待(Bunkamura ザ・ミュージアム)… 展覧会2回
 - ・アロマボディリトリートメント優待(10月～再開)…参加者19名
 - ⑧その他
 - ・もみじの家秋まつり 10月26日 撮影イベントとキッズファミ・カフェ
 - ・キッズファミラジオ 収録第1回 12月5日、第2回 3月13日 →YouTube配信
- 2) 病気を持つ子どもとその家族を支える事業を実施する団体への支援
 - ①重い病気を持つ子どもと家族を支援する事業・活動を行っている施設・団体との連携
 - ・砧地区みんなの交流会 砧まちづくりセンター、砧地域社会福祉協議会 2月5日 世田谷区総合運動場陸上競技会場会議室
 - ・第25回JHHH(日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス)ネットワーク会議 認定特定非営利活動法人ファミリーハウス 2月8日 国立がん研究センター研究棟
 - ・みんなの子育て広場 きぬた☆手をつなごう会 2月28日 砧まちづくりセンター
 - ・友愛十字会マルシェ 社会福祉法人友愛十字会 3月6日 友愛十字会中庭
 - ・ワクワクつながる祭典 NPO法人心魂プロジェクト 3月8日 横浜大さん橋ホール
 - ・第9回スペシャルキッズサポーターの集い 一般社団法人スペシャルキッズサポーター振興協会 3月16日 藍野大学(大阪府茨木市)
 - ②重い病気を持つ子どもと家族を支援する事業・活動を行っている施設・団体への助成
 - ・もみじの家OSAKAプロジェクトに関する助言等

2. 啓発事業

- 1) 啓発を目的としたイベントの開催
 - ①育成夏まつり(盆踊り大会)
 - 8月3日、国立育成医療研究センター中庭 財団紹介ブースと輪投げ
 - ②砧公園スペシャルデー
 - 11月9日 砧公園みんなの広場 財団紹介ブースと輪投げ
 - ③遊ぼう! 知ろう! つなごう! 医療的ケアファミリーのためのスペシャルデー
 - 1月26日 国立育成医療研究センター講堂 財団紹介ブース
 - ④“きらきらキッズフェスタ”…2月15日 世田谷区大蔵第二運動場体育館 財団紹介ブースとフリーマーケット
- 2) 写真展の開催
 - ①国立育成医療研究センターロビー
 - 4月1日～11月29日、12月16日～1月31日
 - ②NHK放送技術研究所ギャラリー…8月5日～9月3日
 - ③世田谷美術館区民ギャラリー…10月1～6日
 - ④大妻女子大学学園祭…10月19・20日
 - ⑤新宿区立子ども総合センター“ここ・からまつり”…11月10日
- 3) 財団の活動紹介
 - ①キッズファミ通信の発行 2回/年度 (6月、12月)
 - ②ウェブサイト・SNSの活用
 - 活動紹介、活動報告、イベント案内、参加者募集
 - ③LGTウェルスマネジメント信託株式会社社員を対象とした財団紹介 5月17日
- 4) その他 書籍「ひとすじの光」の販売及び寄贈

3. 募金活動

- 1) 個人会員の継続及び新規会員獲得への働きかけ
 - 通信送付時や各種イベント等を通じての活動 UK 駅伝(MOMIJI UK)
- 2) 企業や団体への働きかけ
- 3) Vポイント募金(旧Tポイント募金)・お宝エイド・募金箱の活用
- 4) ウェブサイトの活用

4. その他

- ・細谷亮太理事長講演会「私の仕事とキッズファミ財団」
10月17日 参加者15名
- ・喜谷様ご家族との懇親会 10月29日
- ・見学者受け入れ 延べ7グループ

■ 令和7年度事業計画

1. 支援事業

- 1) 重い病気を持つ子どもと家族への支援
 - ①“もみじの家”等短期滞在施設利用料の支援(長期利用支援を含む)
 - ②ファミリーフォトプロジェクト
 - ・“もみじの家”利用中の撮影
 - ・“もみじの家”以外での撮影会の実施
 - ③“もみじの家”利用中のタオル無償提供
 - ④“もみじの家”での「キッズファミ・カフェ」の実施
 - ⑤子どもと家族を対象としたコンサートの開催
 - ・“もみじの家”でのコンサート
 - ・プリティッシュスクールとの共催によるコンサート
 - ⑥“キッズファミラジオ”の開催
 - ⑦イベント等への招待
 - ・美術館招待
 - ・アロマボディリトリートメント優待
- 2) 重い病気を持つ子どもとその家族を支える事業を実施する施設・団体等への支援
 - ①上記施設・団体等との連携
 - ②上記施設・団体等への助成

2. 啓発事業

- 1) 啓発を目的としたイベントの開催・参加
 - “きらきらキッズフェスタ”など
- 2) 写真展の開催
 - ①国立育成医療研究センターロビー
 - ②世田谷美術館区民ギャラリー
 - ③NHK技研ギャラリー
 - ④その他
- 3) 財団の活動紹介
 - ①通信の発行 2回/年度(6月・12月)
 - ②ウェブサイト・SNSの活用

3. 募金活動

- 1) 個人会員の継続及び新規会員獲得への働きかけ
- 2) 企業や団体への働きかけ(ハクルート社の協力を含む)
- 3) Vポイント募金・お宝エイド・募金箱の活用
- 4) ウェブサイトの活用



令和6年度決算報告

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	金 額	備 考
I. 経常収益		
1. 基本財産運用益	60	
2. 受取会費	2,480,000	パートナー会員(10,000 x 133口) サポーター会員(3,000 x 150口) 法人会員(100,000 x 7口)
3. 受取補助金等	359,565	
4. 受取寄付金	23,881,257	
5. 雑収益	238,581	書籍販売、お宝エイド等
経常収益計	26,959,463	
II. 経常費用		
1. 事業費	7,234,138	
1) 支援事業費	5,071,372	利用料支援、ファミリーフォト、ユニバーサル野球等
2) 啓発事業費	2,162,766	写真展、通信、ウェブサイト、イベント等
2. 管理費	10,305,758	
経常費用計	17,539,896	
経常外費用計	0	
当期一般正味財産増減額	9,419,567	
当期指定正味財産増減額	△109,565	
正味財産期首残高	42,241,815	
正味財産期末残高	51,551,817	

昌代さんと私 ―第4回―

前(公財)日本国際交流センター理事長
大河原 昭夫

キッズファム財団の創設者、喜谷昌代さんは長い海外生活中、世界各地で赤十字のボランティア活動に従事されました。その原点は日本赤十字社の橋本祐子青少年課長との出会いであったことが「ひとすじの光 喜谷昌代の生涯」に詳述されています。橋本祐子先生（当時から仲間内では先生とお呼びするのが通例でした）は1964年パラリンピックの通訳ボランティアの結成において中心的役割を担った方です。パラリンピックで活躍したボランティアを母体に1965年に赤十字語学奉仕団が設立され、橋本先生は青少年課長として引き続きその活動のリーダーでした。

私は大学1年生時、同級生の誘いで1968年に赤十字語学奉仕団に入団しました。橋本先生の薫陶を受けながら学生時代

は語学奉仕団の様々な活動に関わり多くの出会いに恵まれました。会社勤めを始めてからも数年間は語学奉仕団において様々なボランティア活動に関わりましたが、その後、海外勤務による中断もありボランティア活動からは離れました。しかし、当時のボランティア仲間とはその後も頻繁にお会いする機会がありました。



喜谷昌代さんと最初にお会いしたのがいつだったか記憶が定かではありませんが、昌代さんが語学奉仕団の大先輩であり、英国でのボランティア活動を通して子どもホスピスの存在をお知りになり、日本に広げる活動をしてられることは昔の仲間から聞いていました。昌代さんのすさまじい情熱とリーダーシップによってもみじの家が開設され、キッズファム財団の設立につながったことには感嘆するばかりです。私自身は語学奉仕団とのご縁により財団の創設時から理事を務めさせて頂いていますが、キッズファム財団が医療的ケア児のご家族の皆さんにとって極めて重要な役割を果たしており、役職員の皆さんとボランティアの皆さんの献身的ご尽力によって着実に活動の領域を広げていることに敬意を表します。今後の更なる発展を祈念して止みません。



「赤十字語学奉仕団」2010年に八芳園で開催された昌代さんの旭日双光章叙勲祝いの会

ご寄付いただいた方々ご支援有難うございます

(2024.10.1 ~ 2025.3.31)

敬称略

相澤 芳江 / 青野 佐代子 / 朝野 春美 / 安西恵美子・川勝 美樹 / 安藤 愛子 / 井伊 知美 / 池上 典子 / 池永 豊子 / 石原 晶世 / 伊藤 啓子 / 伊東 ふじ子 / 伊藤 雅彦 / 伊野 公基 / 茨木 信夫 / 五十子 敬子 / 岩佐 敏子 / 植田 栄子 / 上田 照子 / 植田 宣子 / 上村 恵一 / 宇川 俊和 / 榎本 陽子 / 江端 貴子 / 岡崎 伸 / 岡本 太郎・尚香 / 奥芝 彰子 / 奥野 英子 / 小田 康之 / 乙幡 貴美子 / 小野 登美子 / 片山 成美 / 片山 ます江 / 金田 永子 / 金本 英美 / 亀山 聡子 / 川瀬 英子 / 川辺 優子 / 菅野 哲介 / 岸田 淑子 / 岸本 晃子 / 喜谷 喜夫 / 鬼頭 とし子 / 工藤 加寿子 / 工藤 隆司 / 河野 典子 / 児玉 桂子 / 小林 智子 / 込田 邦子 / 小峰 万木子 / 猿渡 美樹 / 澤村 明子 / 鎮目 稔・令子 / 柴田 敏子 / 島谷 美成・恵以子 / 菅谷 広子 / 杉浦 花音 / 杉山 喜美子 / 鈴木 啓子 / 鈴木 牧子 / 鈴木 祐子 / 清藤 航平・珠帆 / 高島 渉 / 高梨 絹代 / 滝本 悦子 / 田代 洋子 / 土屋 幸子 / 寺井 勝 / 寺田 晴子 / 土居 和子 / 土肥 仁 / 長島 日出男 / 長瀬 淑子 / 中村 知夫 / 浜崎 祐子 / 原田 純子 / 日高 淑子 / 廣田 ゆき江 / ファリーダ ラーマン / 福神 規子 / 藤岡 康 / 藤麻 香織 / 平馬 慶子 / 星野 鋼 / 堀内 敬子 / 堀内 静夫 / 堀江 ひろ子 / 前垣 義弘 / 前田 和恵 / 増田 とも子 / 増田 美鶴 / 松尾 三枝子 / 三浦

正充 / 皆川 幸洋 / 峯 基二 / 村井 やよい / 村尾 奈央 / 村木 厚子 / 馬上 英実 / 森部 加奈子 / 森山 誠二 / 八鍬 瑛子 / 築瀬 泰人 / 山口 栄一 / 山田 史郎 / 山羽 啓子 / 吉田 明記 / 吉田 三恵子 / 渡邊 豊

イニシャル HW/JM/KA/KA/KJ/KK/MS/SS/YH
匿名 19名 お宝エイド 尾崎 ひふみ / 小野寺 香那

ご寄付いただいた企業・団体

ILBS国際福祉協会/大妻女子大学人間関係学部人間関係学科/ CCCMKホールディングス株式会社/首都開発株式会社/聖心 女子学院みこころ社会福祉部/世田谷稲門会地域サポート 活動部会/東京アーバンコンサルティング株式会社/東京中央ロータリークラブ/日本大学櫻丘高等学校/Hakluyt & Company Japan 株式会社/公益社団法人程ヶ谷基金/ MOMIJI UK

*募金箱の設置については、多くの企業・団体様にご協力 いただいています。設置箇所についてはウェブサイトをご 覧ください。

*各種イベントに募金箱を置かせていただいています。



会員募集と ご寄付のお願い

- ★ 財団の活動は、皆様からの毎年のご寄付（年会費）によって賄われております。
- ★ 皆様からのご支援で、一人でも多くの「重い病氣を持つ子どもたちと家族」を支えてください。
- ★ 会員の方には、継続的に財団通信をお送りするほか講演会等イベントのご案内を差し上げます。
- ★ 財団通信にて、お名前・団体名を開示させていただきます。匿名およびイニシャルをご希望の方はお手数ですが、財団事務局までメールまたはお電話にてご連絡ください。

◆ 年会費（4月1日から翌年3月31日）

- ① 法人会員 1口 100,000円
- ② パートナー会員 1口 10,000円
- ③ サポーター会員 1口 3,000円

※ 1口から何口でもお受けいたします。

◆ ご寄付

金額の多寡にかかわらず、ありがたく賜ります。
ご支援をぜひお寄せください。

□ 口座名義

一般財団法人

重い病氣を持つ子どもと家族を支える財団

- 郵便振替
00140-0-420461
- 三菱 UFJ 銀行 成城支店
普通 0233800
- クレジット決済 (QR コード)



- ★ 三菱 UFJ 銀行に初めてご送金いただいた方は、メールまたは電話でご氏名とご住所をご連絡願います。

—お知らせ—

- ★ 写真展「いのち輝く」のご案内
① 2025年7月28日～8月22日 NHK技研ギャラリー
② 2025年10月7日～12日 世田谷美術館区民ギャラリー
詳細は財団のウェブサイトでご案内いたします。
- ★ Vポイント募金にご協力をお願いします。従来のTポイント改めVポイントをお持ちでしたら、キッズファム財団に募金いただくことが可能です。
“Vポイント募金”で検索ください。
<https://donation.tsite.jp>



“Friends of KidsFam”

財団の仲間たち ③

社会福祉法人 友愛十字会 常務理事 宮崎 浩

ハワイへ移住された同胞の方々が敗戦で傷ついた日本を何とか救いたいとの願いから75年前に当法人は発足しました。陸軍病院跡地のこの地で最初は傷痕軍人の方や身寄りのない高齢の皆様を安心して求めています。その後は板橋で聞こえない方々の支援を始め、5年前からは医療的ケアの必要なお子さんを支える活動を港区で手掛けています。これからは、「医ケア」に対応できる児童発達支援等への取り組みをこの地で目指します。

実は、成育医療研究センターの夏まつりで私たちと一緒に踊っていただいた余谷先生を砦まちづくりセンターの石綿所長がご紹介下さり、そのご縁で「きらきらキッズフェスタ」の仲間にも入れてもらいました。

これからも皆様のご指導とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



共に生きる

～ 感じる 創る つながる ～

* 新シリーズ「財団の仲間たち」です。財団と一緒に活動する皆さんに登場いただきます。

編集後記

キッズファム通信No.17をお届けします。2月に第2回「きらきらキッズフェスタ」を開催し、地域の学校、団体、ご家族が音楽やあそびを通じて一緒に楽しい時間を過ごしました。今回は参加チームも増え、皆さんが一つになれることがとても嬉しく思いました。来年もまた同時期に開催の予定です。

本号の表紙は、ロンドンの中心部を流れるテムズ川を行く「クルーズ船」をテーマに描いてみました。優雅なクルーズ船に乗って、お友達やご家族とおしゃべりや食事を楽しみながら、ロンドン観光を満喫することができるので人気です。ビッグベンを背景に夏の夕べの雰囲気を感じていただけたら幸いです。ご家族も窓から楽しそうに観ています。（大川）



一般財団法人 重い病氣を持つ子どもと家族を支える財団
(キッズファム財団)

〒157-8535

東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療研究センター内



03-5494-1230 Eメール ✉ zaidan@kidsfam.or.jp

URL : <https://kidsfam.or.jp> 「キッズファム財団」で検索ください

Foundation for Severely Ill Children and Their Families